

ご支援くださっている皆様

特定非営利活動法人 M U K W A N O

東京都港区南青山2-2-15 Win AoyamaビルUCF9階

URL <http://www.mukwanojapan.org>

E-Mail [info@mukwanojapan.org](mailto:info@mukwanojapan.org)

拝啓 立春とは名ばかりの寒さが続いておりますが、いかがお過ごしでしょうか。

平素より MUKWANO (ムクワノ)の活動へのご理解とご支援を賜り心より感謝申し上げます。

皆さまのご協力のおかげで、私たちは 2006 年より、これまで 20 年にわたり、ウガンダ・Rakai 地域の子どもたちやコミュニティを支える活動を続けてくることができました。

長年支援してきた Rakai の現地パートナー団体が、2 年半前より大きな教会組織からの支援を受けられることとなり、MUKWANO ホームの敷地には、中学校も建ち、この近辺の教育の基盤がより安定する見通しとなりました。これは、皆さまの継続的なご支援があったからこそ実現した大変喜ばしい進展です。

一方で、MUKWANO からの支援と教会からの支援が重複し、二重支援となることを避ける必要が生じました。新しい地域での支援先を探すことも検討いたしましたが、理事が現地に赴くことが難しい状況の中で、責任を持って新たな支援地および現地のローカルの支援 NGO を選定することは困難であると判断いたしました。

そのため 2 年前より、現地に住んでいる日本人の方々とオンラインミーティングを重ね、信頼のおける日本人が現地にいる NGO 団体のご協力を得て、農業支援および養殖支援プロジェクトへの助成という形で、子どもたちの食糧安定や自立支援に直結する活動をサポートさせていただきました。私たちの理念である「地域の力を育てる支援」という方向性を保ちながら、引き続き現地の生活改善に貢献できる取り組みに、皆様からのご支援を活用しております。本当にありがとうございます。

MUKWANO は、これまでの 20 年が示すように、皆さまのご支援が確かにウガンダの子どもたちの未来を拓いてきました。今年度は、信頼のおける他の NGO 団体に支援活動を委託する形を取ることといたしました。

MUKWANO が主体となった形での活動は一区切りとなります。私たちが大切にしてきた理念と想いは、引き続き現地で活動される他の団体と共に、受け継がれていきます。どうか

これからも、ウガンダの子どもたちに温かいご支援の眼差しをお寄せいただけましたら幸いです。

2024年度の事業活動報告をお届け申し上げます。

敬具

## ■■■■■ 2024年度 MUKWANO 事業報告 ■■■■■ (2024年7月1日～2025年6月30日)

2025年4月より、認定NPO法人テラ・ルネッサンスの元で、ウガンダの社会的脆弱世帯に對しての農業支援、養殖業の職業訓練活動に力を入れています。

農業管理、販売の技術訓練の強化、エネルギー源となる主要穀物や野菜といった自給食料を確保できるよう、また対象住民がほとんど摂取できていないタンパク質を確保するために、2023年度に灌漑インフラとして掘削した貯水池の水を活用し、養殖を実践しました。



【写真：養殖業で小指サイズから手のひらサイズに成長したティラピア】

事業を開始した直後、過去2年間には例を見なかったような大雨が降った影響で支援対象者の自分の畑での仕事が増えたり、ウガンダで実施されている選挙による住民の動員なども影響し、農場への出席率の低下などが課題としてありました。そんな中でも毎週人々と農作業に汗を流す支援対象者達がいます。彼らは他の誰のためでもなく自分たちの生活の向上のために畑を耕しており、これからのウガンダの未来につながることを確信しております。

また、農業技術の習得によって、雨季に貯めた雨水を利用して、トマト・タマネギ・ナス・スクマウイキ・ほうれん草・ピーマン・おくらなどの野菜を生産・収穫することができました。また、おくらやナスは長期保存のため 小さくカットし乾燥させ、ドライ野菜にして保存する作業も行いました。また、これらの収穫された野菜は、販売をしており、各グループ少しづつ収入を得ています。天候の変化から想定以上に野菜の収穫ができなかったグループもあるものの、無事にクリスマス前に各グループの利益配分を行うことができました。1月以降は本格的な乾季に入り、市場に出回る野菜の価格も上がるため、着実に野菜栽培・販売を行うことを目的とし、しっかりと利益が出るように、計画しています。



【写真：野菜収穫の様子】

【その他 現地の様子】



左：2025年12月撮影 MUKWANO Home

右：敷地内に併設された中学校(教会の支援で、成り立ったものです)。



MUKWANO ホームで誕生日会を開きました。

このホームに入居した当初は、自分の正確な誕生日を知らない子どもたちも少なくありませんでした。そこでスタッフがそれぞれの「誕生日」を決め、その日が子どもたちにとっての誕生日になりました。

小さなケーキを用意し、みんなで一口ずつ分け合いながら、ささやかにお祝いをしました。



ホームの前に置き去りにされていた双子の赤ちゃん 2 人は、今ではすっかり成長し、ホームのスタッフの愛情に包まれて育てられています。

(左 : 2021 年 10 月、右 : 2025 年 12 月撮影)